

令和3年度 当初予算（案）

主な事業の説明書

経済産業部

款	項	目	大	事	業	ページ
2	1	10	43	国内	友好都市交流事業費	6 - 1
5	1	4	24	資格	取得応援事業費	6 - 2
7	1	2	24	工業	振興奨励事業費	6 - 3
7	1	2	34	花火	産業構想アクションプラン推進事業費	6 - 4
7	1	2	70	がんばる	商店等支援事業費補助金	6 - 5
7	1	4	55	観光	拠点施設整備事業費	6 - 6
7	1	4		市所有	温泉施設管理費	6 - 7
				企業	団地整備事業特別会計	6 - 8

事 業 説 明 書

2 款 1 項 10 目 43 事業

(施策の大綱) 地域間交流・国際交流の推進

(施策) 協働による地域間交流・国際交流の推進

(基本事業) 地域間ネットワークの積極的な活用

継続

課所名： 経済産業部 交流課

『事業名』 **国内友好都市交流事業費**

【R3年度】 15,845 千円 【R2年度】 15,591 千円 【増減額】 254 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			15,845	

※地域振興基金繰入金 15,065
※宮崎市交流事業負担金 780

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

有縁交流提携を調印している宮崎県宮崎市、友好交流都市協定を締結している神奈川県座間市及び岩手県宮古市との交流・連携を図り、相互に発展することを目指す。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

■宮崎県宮崎市 ※有縁交流提携調印 H13年(2001年)6月3日

区分	H30年度	R1年度	R2年度
青少年交流	《派遣》7/27～29、大仙市中学生9名	《受入》12/26～28、宮崎市中中学生15名	中止

■神奈川県座間市 ※友好交流協定締結 H27年(2015年)3月21日

区分	H30年度	R1年度	R2年度
青少年交流	《受入》12/25～27、座間市ジュニア及びシニア・リーダーズクラブ17名	《派遣》11/15～17、大仙ビッグフィールド18名	中止
市民団体交流	《受入》7/7～8、座間市グリーンタウン自主防災会14名 《派遣》11/17～19、中仙連合婦人会13名	《受入》7/6～7、ZAMAビッグバンドジャズオーケストラ15名 《派遣》11/16～17、大曲日の出町「防災・防犯の会」18名	中止

■岩手県宮古市 ※友好交流協定締結 R1年(2019年)10月5日

H23年3月の東日本大震災に伴う支援以降、両市のイベントへの相互参加、大曲の花火への被災者招待や職員交流等により絆を深め、R1年(2019年)10月5日に友好交流都市協定を締結している。

3. Check (評価：問題と課題)

- ・ 交流事業実施による効果を市民に伝える取組を進める必要がある。
- ・ 本市と友好・有縁交流都市の幅広い世代の市民や様々な市民団体等が交流できる事業を展開する必要がある。

4. Act (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

【主な事業概要】

■宮崎県宮崎市との交流 (予算額 6,915千円)

区分	内容	時期(予定)
青少年交流(派遣)	市内中学生を派遣して宮崎市の中学生との交流やホームステイ等の実施	夏季
【新規】有縁交流提携20周年記念	有縁交流提携20周年記念式典の開催(於：宮崎市)	10月
プロ野球宮崎キャンプ体験(派遣)	市内中学生を派遣してプロ野球宮崎キャンプの見学等の実施	2月

その他 … 宮崎神宮大祭でのパレード、一ツ瀬川花火大会での花火打上、宮崎市産品販売促進支援の実施

■神奈川県座間市との交流 (予算額 3,594千円)

区分	内容	時期(予定)
青少年交流(受入)	座間市の青少年(スポ少野球選抜チーム)を受け入れて野球の試合などを通じた交流の実施	10月
市民団体交流(派遣)	R1年度に座間市の「ZAMAビッグバンドジャズオーケストラ」の受け入れに協力した「仙北吹奏楽団」を座間市に派遣して音楽を通じた交流の実施	11月

その他 … 大凧まつりでの物産販売や花火打上、座間市民ふるさとまつりでの物産販売の実施

■岩手県宮古市との交流 (予算額 5,278千円)

区分	内容	時期(予定)
「本州最東端・宮古の海」大仙市民招待(派遣)	大仙市内の小学生と保護者が宮古市を訪問し、様々なプログラムの体験 ※実施主体：宮古市	8月
「大曲の花火」への宮古市民招待(受入)	宮古市民を大仙市に招待し、はなび・アムの見学及び大曲の花火の鑑賞	8月
【新規】友好交流都市協定締結記念碑建立	協定締結の記憶を後世に伝えるため、記念碑の建立及び除幕式の開催 ※宮古市ではR2年度に建立済	10月

その他 … 宮古市産業まつりでの物産販売や花火打上、大仙市秋の総りフェアでの宮古市産サンマ無料提供

【今後の方向性】

各都市との協定等に則し、文化、スポーツ、教育、経済など幅広い分野での持続的な交流を促進するとともに、今後も相互の発展に寄与する交流事業を各部署と連携して実施する。

事 業 説 明 書

5 款 1 項 4 目 24 事業

(施策の大綱)雇用の安定、就労の促進

(施策)雇用・就労環境の支援

(基本事業)雇用・就業支援の充実

継続

課所名： 経済産業部 企業商工課

『事業名』 **資格取得応援事業費**

【R3年度】 1,932 千円 【R2年度】 2,673 千円 【増減額】 △ 741 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			1,932	0

※地域振興基金繰入金

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

①職業スキルアップ事業

大曲地域職業訓練センターで開講される、特別教育、技能検定準備講習会、職長・安全衛生教育について受講料を負担し、大曲地域職業訓練センターの利用拡大と地域産業の振興を図る。

【目 標】 技能検定講習受講者の資格取得率：60%以上

②若者求職者資格取得支援事業

地域産業が求める専門的な資格を有する人材の育成と、若者の地元定着のため45歳未満の求職者の資格取得を補助し、就業機会の拡大を図る。

【目 標】 補助金受給者の3ヵ月以内就業率：60%以上

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

①職業スキルアップ事業実績

(人)

資格種類	H29		H30		R1	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
特別教育	10	91	5	97	4	198
技能検定準備講習会	6	34	7	42	6	22
職長・安全衛生責任者教育	1	10	2	28	3	16
計	17	135	14	167	13	236

・R1技能講習受講者の技能士検定合格率65.5%

②若者求職者資格取得支援事業実績

(人)

資格種類	H29	H30	R1
自動車免許 (大型特殊等)	17	9	2
介護	2	3	1
技能講習	1	3	1
計	20	15	4

○負担金・補助金額実績

(円)

	職業スキルアップ	若者求職者資格取得
H29	1,450,000	1,393,065
H30	1,900,000	670,885
R1	2,499,000	208,135

3. C h e c k (評価：問題と課題)

若者求職者資格取得補助金については、利用者が少ないことから、企業が求める多様な職種に対応した対象資格の追加と、複数年の受講による資格取得への対応が課題である。

4. A c t (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

①職業スキルアップ事業 (予算額：1,132千円、受講予定者数：89人)

60歳未満の市民が大曲地域職業訓練センターで開講される特別教育、技能検定準備講習会、安全衛生教育を受講した際の受講料を全額負担する。

- ・特別教育 受講予定者：45人
- ・技能検定準備講習会 受講予定者：39人
- ・安全衛生教育 受講予定者：5人

②若者求職者資格取得支援事業 (予算額：800千円、補助申請予定者数：13人)

【対 象 者】 45歳未満の市税の滞納がない大仙市在住の求職者及び非正規雇用労働者

【対象資格】 ○労働安全衛生法：免許、技能講習、特別教育、安全衛生教育、建設に関する技能士

○介護研修：介護初任者研修、介護実務者研修

○運転免許：大型自動車、中型自動車、大型特殊自動車、けん引車、各種第二種運転免許

○保育士資格、幼稚園教諭資格 (ただし、学生を除く。)

【対象経費】 受験料、受講料、テキスト代

【補 助 額】 資格取得に要する費用の2分の1を補助 (上限10万円/人・年1回)

事 業 説 明 書

7 款 1 項 2 目 24 事業

(施策の大綱)商工業の振興

(施策)地場産業と企業誘致の強化

(基本事業)企業誘致のための取り組みの充実

継続

課所名： 経済産業部 企業商工課

『事業名』 工業振興奨励事業費

【R3年度】 10,000 千円 【R2年度】 15,000 千円 【増減額】 △ 5,000 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			10,000	

※地域振興基金繰入金

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

新規誘致企業や設備投資を行う市内企業に対し必要な支援を講じ、雇用の促進による地域経済の活性化を図る。

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

設備投資を行い雇用創出を図った市内企業に対して各種支援を講じてきた結果、本市誕生後、45社延べ約460名の雇用を創出してきた。

3. C h e c k (評価：問題と課題)

企業団地第1期造成については令和4年3月に完成予定であり、現在、立地を検討している企業に対しオーダーメイド型のきめ細やかな支援策を提示しながら継続的にアプローチしている。
また、コロナ禍により経済動向が大きく変化していることから、企業が必要とする支援策を柔軟に検討していく必要がある。

4. A c t (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

《支援制度》

No	名称	支援内容	想定企業数	補助額等(千円)
1	工業等振興条例	投下設備投資に係る固定資産税を5年間免除	—	—
2	雪対策支援補助金	雪対策に係る経費の1/2を補助 ○新規誘致企業 上限300万円×3年間 ○その他の企業 上限100万円×1年間	4	6,000
3	企業立地インフラ整備支援補助金(道路、水路、水道等)	対象経費の1/2を補助(上限100万円)	—	—
4	工場等用地取得等助成金	【取得】取得額の30%を助成(上限1億円) 【借地】借地料の20%を3年間助成	—	—
5	工場等建物・設備取得等助成金	【新規】投下費用の30%を助成(上限1億円) 【増設】投下費用の10%を助成(上限1億円)	1	4,000
6	情報関連産業集積事業費補助金	○事務所整備費の30%(上限1,000万円)を補助 ○事務所賃借料の20%(上限300万円)を3年間補助 ○機械設備購入費の20%(上限500万円)を補助 ○機械設備賃借料の20%(上限300万円)を3年間補助	—	—
7	空き工場再利用助成金	固定資産税額の3倍(上限1,000万円)を助成	—	—
			合計	10,000

※上記以外の申請については補正予算で対応する。

事 業 説 明 書

7 款 1 項 2 目 34 事業

(施策の大綱) 花火産業構想の振興

(施策) 花火産業構想の推進

(基本事業) 花火ブランドを活かした観光・商業・農業振興策の強化・拡充

継続

課所名： 経済産業部 観光課

『事業名』 花火産業構想アクションプラン推進事業費

【R3年度】 37,674 千円 【R2年度】 24,996 千円 【増減額】 12,678 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,680				30,994

※地方創生推進交付金

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

花火産業構想第Ⅱ期アクションプランに基づき、工業・観光・商業・農業・文化・教育など各分野の施策の有機的推進により、地域経済の活性化を図る。新型コロナウイルス感染拡大による影響を鑑み、事業目標値については、令和5年度までの3か年で令和元年度水準へと回復することを目指す。

目標：令和3年度市内宿泊客数93,692人
令和3年度大仙市観光物産協会のお土産売上額 29,034千円

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

- 令和元年度の市内宿泊客数は、秋季の台風や冬季の少雪、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により約1万人の減となった。令和2年度上半期の宿泊客数は40,430人で前年度同期比44.6%となっている。
- 観光物産協会お土産売上額は令和元年度まで増額基調で推移していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度の実績見込みは前年度比70.5%の25,897千円となっている。

【市内宿泊客数の推移】

H29	H30	R1
159,763人	164,807人	154,403人

【大仙市観光物産協会のお土産売上額の推移】

H29	H30	R1
27,003千円	32,481千円	36,713千円

3. Check (評価：問題と課題)

- 新型コロナウイルス感染拡大により、花火大会をはじめとした誘客見通しが不透明となっている。
- 密集・密接を避けた形で誘客が可能な「プライベート花火」や新たな体験コンテンツの開発により、誘客手法を多様化し、通年観光を推進していくことが必要となっている。

4. Act (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

- 国の地方創生推進交付金を活用し、花火産業構想第Ⅱ期アクションプラン各事業を推進する。
- 花火イベント等の情報発信番組を制作し、各種メディアを活用し国内外に広くPRする。
 - コロナ収束後のインバウンド振興を見据え、国際花火観光都市との交流事業を推進する。
 - コロナ状況下において「大曲の花火」の会場運営の円滑化を図るため、観覧会場整備を実施する。
 - プライベート花火を中心とした新たな観光コンテンツの開発により通年での観光誘客を促進する。
 - お土産商品ブランド「せんのぜん」について、国内外でのプロモーション強化により販売促進を図る。

No.	花火産業構想第Ⅱ期アクションプラン上の事業名称	予算額 (千円)
①	花火イベント等情報発信事業	2,530
②	花火師育成・確保支援事業	606
③	花火学習プログラム展開事業	495
④	国際花火観光都市交流推進事業	4,041
⑤	四季の「大曲の花火」開催・販売促進事業 (観覧会場整備)	20,000
⑥	“あなただけの花火” 打上事業	5,456
⑦	花火大会におけるイベント民泊の推進	134
⑧	お土産商品ブランド「せんのぜん」展開事業	4,348
⑨	「大曲の花・美 (はなび) ダリア」販売普及事業	64
合計①～⑨		37,674

事 業 説 明 書

7 款 1 項 2 目 70 事業

(施策の大綱) 商工業の振興

(施策) 商業環境整備の支援

(基本事業) 地域商店の活性化への支援

拡充

課所名： 経済産業部 企業商工課

『事業名』 **がんばる商店等支援事業費補助金**

【R3年度】 4,500 千円 【R2年度】 2,050 千円 【増減額】 2,450 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				4,500

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

商店街並びに商店グループが実施するイベント事業、商品券事業等を支援し、各商店の魅力向上と市内の購買力の底上げ及び消費拡大を図る。

【目標数値】 イベント事業補助： 8 団体 商品券事業補助： 2 団体

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

《交付実績》

区分	30年度	令和元年度	2年度(見込み)
①イベント事業のみ実施団体	5 団体 1,250千円	4 団体 924千円	3 団体 750千円
②イベント事業と商品券事業の実施団体	1 団体 501千円	1 団体 484千円	1 団体 521千円

3. Check (評価：問題と課題)

地域の商業振興及び消費下支えを支援し、市民が地域内で手軽に買い物できる環境の維持を図るため制度の継続は必要である。

しかしながら、既存の実施団体以外は事業費確保に苦勞しており、本事業の活用が特定地域に止まっていることから地域商店街元気づくり事業との相乗効果による新規団体の確保に努める。

4. Act (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

○近年、過去に事業を実施していた団体が会員数の減少により実施困難な状況となっていることから、構成する店舗数の見直しを行い、市内の10店舗以上から5店舗以上の商店で構成する商店街並びに商店グループに変更し、それらの団体が実施するサービス提供事業及び商品券事業に係る総額20万円以上の補助対象経費に対して補助する。

○昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大により地域経済が影響を受け消費が落ち込んだことから補助限度額や補助率の引き上げを行い商店街の消費拡大を図る。

補助対象経費	補助率	限度額	予算額
①イベント開催や商品券発行に伴う事務的経費及びサービス提供経費	1 / 2	50万円 (25万円)	3,200千円 ※8 団体分
②商品券発行に伴う割増経費分相当額に対する経費	全額 (4 / 5)	100万円 (80万円) ※①を含む	1,300千円 ※2 団体分

※カッコ内は昨年度の数値

事 業 説 明 書

7 款 1 項 4 目 55 事業

(施策の大綱) 観光の振興

(施策) 魅力ある観光地づくり

(基本事業) 魅力的な観光地づくりの推進

継続

課所名： 経済産業部 観光課

『事業名』 **観光拠点施設整備事業費**

【R3年度】 234,345 千円 【R2年度】 30,510 千円 【増減額】 203,835 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		218,900	3,508	11,937

※公共施設適正管理基金繰入金等

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

鉄道駅や道の駅は、市内に点在する観光資源同士を結びつける役割を担っており、観光客の利用頻度が極めて高い観光拠点施設であることから、その基盤となる施設の整備を行うことにより、観光客の満足度の底上げと、経済波及効果の拡大を目的とする。

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

令和2年度には、西口の観光タペストリーの掛替えや東西自由通路へのステーションピアノの設置、東口への大型観光看板を設置を行った。ステーションピアノの利用頻度は高く、市民主催のイベントも開催されている。

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ・施設利用客層の多様化がみられるものの、建設から20年以上が経過した大曲駅西口には下りエスカレーターがなく、インフォメーションホールへアクセスが悪い。またホール内の動線や乳幼児を連れた利用者の待合等に不便な点がみられるため、様々な利用者のニーズに沿った観光拠点施設機能の整備が必要となる。
- ・駅舎建築から20年以上が経過し、空調設備や昇降機、トイレ設備など、耐用年数の超過により大規模修繕が必要となっている。

4. A c t (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

- ・施設利用客層の高齢化など社会情勢が変化していることから、エスカレーターの増設や観光情報センターインフォメーションホールのリニューアルを実施する。
- ・ステーションピアノの活用により、観光客の満足度の底上げや観光PR、経済波及効果の拡大を目指す。
- ・設備が経年劣化していることから、今後年次計画で修繕していく。

■事業内容

No.	事業名称	内容	予算額(千円)
①	大曲駅西口エスカレーター増設工事	大仙市の玄関口である大曲駅の利便性向上のため、エスカレータを増設する。	228,118
②	大仙市観光情報センターリニューアル工事・受変電設備改修	旅行者への観光情報の提供や、地域の特産品販売を行うインフォメーションホールのリニューアルを実施。	5,697
③	大曲駅東口大型観光看板事業	大曲駅東口の大型観光看板4基(R2.11現在2基設置済み)にかかる電気料。また、年2回観光看板のシート交換を行う。	515
④	大曲駅ステーションピアノ事業	R2.11に設置されたステーションピアノの保守(調律)を実施する。	15

事 業 説 明 書

7 款 1 項 4 目 事業

(施策の大綱) 観光の振興

(施策) 魅力ある観光地づくり

(基本事業) 魅力的な観光地づくりの推進

継続

課所名： 全庁分

『事業名』 **市所有温泉施設管理費**

【R3年度】 187,477 千円 【R2年度】 161,131 千円 【増減額】 26,346 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			121,866	65,611

※公共施設適正管理基金繰入金等

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

市民の保養、休養及び交流を促進し、市民の豊かな生活に資する。
また、観光施設として適切な維持管理・運営を行い、施設利用者の安全と快適性を確保する。

- 年間利用者目標：嶽の湯 100,000人、ユメリア 81,250人、四季の湯 36,000人、
南外ふるさと館 40,000人、柵の湯 115,000人、中里温泉 115,000人

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

- ・地域住民を中心に健康増進、交流促進施設としての役割を果たしている。
- ・施設の老朽化に伴い、源泉や施設設備に不具合が生じてきており、順次改修、補修工事を進めている。

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ・地域住民の利用のほか、観光客の休憩・宿泊の場であるが各施設とも老朽化が進んでおり、施設設備の維持管理費が増大している状況であるため、今後の施設のあり方について再度検討する必要がある。

4. A c t (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

施設の老朽化が進んでおり適正な維持管理が難しい状況となっているが、利用者確保には必須であるため、計画的に維持管理を行う。

令和2年度から中里温泉は市直営化し運営を行っている。令和3年度は指定管理者の応募がなかったことから柵の湯も暫定的に直営化し、将来の指定管理に向けて準備を進める。

施設名	利用者数 (人)		予算額 (千円)	主な事業内容
	H30	R1		
嶽の湯	104,477	106,468	5,123	指定管理料、冷温水発生機チューブ洗浄
ユメリア	78,250	72,648	23,301	指定管理料、厨房冷蔵庫購入 (2台)
四季の湯	46,183	44,267	9,535	指定管理料、源泉保守管理
南外ふるさと館	39,878	35,409	16,154	指定管理料、2号井源泉ポンプ交換工事
市所有温泉施設管理費			133,364	柵の湯及び中里温泉の直接運営経費、市温泉施設の緊急を要する工事費用
柵の湯	111,747	116,362		
中里温泉	114,550	104,931		
合計額			187,477	

事 業 説 明 書

【企業団地整備事業特別会計】 1 款 1 項 1 目 10 事業

(施策の大綱) 商工業の振興

(施策) 地場産業と企業誘致の強化

(基本事業) 企業誘致のための取り組みの充実

継続

課所名： 経済産業部 企業商工課

『事業名』 **企業団地整備事業費**

【R3年度】 **364,130 千円** 【R2年度】 **19,100 千円** 【増減額】 **345,030 千円**

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		363,000		1,130

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

【目的】

企業の立地需要に迅速かつ柔軟に対応するため新たな企業団地を整備する。市外からの誘致企業や既存企業の事業拡大を推進し、特に若者の雇用機会の確保に努めながら市内産業の振興を図る。

【目標】

引き渡し後、5年を目途として

○新規及び増設事業所数 4件程度 ○新規雇用者数 50名程度

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

《全体計画概要》

○所在地 大仙市大曲西根字上野地内ほか

○開発面積 約100,000㎡ (第1期：39,798.66㎡/第2期：38,900㎡/第3期：21,800㎡)

年度	実施内容
H29	○適地調査
H30	○基礎調査 ○地形測量
R 1	○不動産鑑定 ○設計(～R2) ○測量(～R2) ○用地交渉等
R 2	○設計 ○測量 ○用地買収 ○第1期工事着手(令和2年11月11日)

3. C h e c k (評価：問題と課題)

○第1期造成について、立地を検討している企業に対しオーダーメイド型のきめ細やかな支援策を提示しながら、トップセールスによる継続的なアプローチを図る。

○コロナ禍における経済動向を注視しながら、企業の立地需要を的確に把握し、可能な限り早期に第2期及び第3期造成に着手する。

4. A c t (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

《令和3年当初予算の内訳》

No.	項 目	説 明	予算額(千円)
1	工事請負費	第1期造成工事に係る工事請負費 ※R2～継続費 (契約額：402,600千円×90%=362,340千円)	362,340
2	補償費	電柱及び支障電気通信設備移転工事	660
3	長期債利子償還金		1,130
合計			364,130

《第1期造成工事の概要》

工種	数量
敷地造成工 掘削	9,000㎡
敷地造成工 盛土	53,200㎡
交差点改良(1カ所)	240m
幹線道路整備工 W=10.0m	132m
補助幹線道路整備工 W=8.5m	322m
管理用道路整備工 W=5.0m	421m
工業用水移設工	235m
農業用パイプライン移設工	420m

名称	地積
街区	A 9,519.10 ㎡
	B 10,488.59 ㎡
	C 10,102.28 ㎡
	D 3,929.40 ㎡
	合計 34,039.37 ㎡
緑地	1,211.21 ㎡
道路	4,548.08 ㎡
合計	39,798.66 ㎡